

OS交配

露地



夏秋 露地抑制適応 4~8月播き

キュウリ

豊美 ほうみ 1号・2号

●ウドンコ病・褐斑病・べト病に極めて強い ●ズッキーニウイルスにも強い
「省力性と耐暑性に優れる」 複合耐病性

☆豊美1号の特徴は
そのままに 豊美2号は
1号より枝発生が良く、
果長がやや長め。



株式会社 埼玉原種育成会



豊美1号・豊美2号

特性と栽培のポイント

特性

- ズッキーニ黄斑モザイクウイルス(ZYMV)耐病性品種。
- ウドンコ病・べト病に強く、褐斑病・タンソ病にも比較的強い。
- 省力性と耐暑性の性質を備え持つ。つる持ちも向上で多収性。
- 2号は、1号より枝発生が良く、果長がやや長め。

適作型と雌花着生	露地:夏秋 露地抑制:4月~8月播き 4月~5月播き50%~60% 6月~8月播き40%~50% ※1節1果成り主体	果長	100g果で20~21cm シーズン通じ安定 2号は100g果21~22cm 1号より長め
主枝	太く、節間はやや短めで徒長しにくい	果形	共に肩から尻部に良く整った円筒形で長期に亘って果揃い良好
側枝	近成りの側枝がしっかり確実に発生する	果色	全体みずみずしい濃緑色で光沢良好 シモフリ・条線の発生、退色は出にくい
孫枝	孫枝以降は短節間となり、雄花節からは確実に短側枝が発生する	果皮	なめらかな肌で光沢に優れ、トゲ(イボ)も適度で品位が高い
葉	濃緑で厚みがあり、やや丸形	食味	果皮柔らかく果肉のしまりが良いため歯ざわり良好 食味は極良
草姿	すっきりと生育し受光性抜群 果肥大スムーズでバランス良好	収量	果実の肥大が早く、近成りではあるが初期から収量構成が一定する 雄花節から成り戻しが多く総収量多くなる
草勢	2号は、1号よりやや強めの草勢 1・2号共に葉が丈夫で繁茂しにくい ため、葉の蒸れ上がりしがしにくい		
耐病性	ウイルス病に強く、複合感染による急性萎凋症の発生が少ない。果実のモザイク症も軽減		

栽培のポイント

※草勢を維持するため、2~3本仕立ての場合、孫枝以降の半放任による整枝で末期まで良果が穫れ続ける。

●定植と植付本数

害虫防除のために、植付前にポットへの薬剤処理をしておく。葉面散布や発根促進剤等でトブ漬けをし、地温16℃以上保つ条件で定植すると良い。植付本数は、株間75cm~100cmで約750本/10aを目安にする。

●施肥

初期の低地温での肥効をよくするために、早くから堆肥や有機質肥料を中心に広く深くにまで施しておくが良い。通常N15~20kg,P10~20kg,K15~20kg位だが前作、肥料の種類、地力により増減する。追肥は梅雨時期にかけ、根は浅根となり易いので少量ずつ多回数が良い。

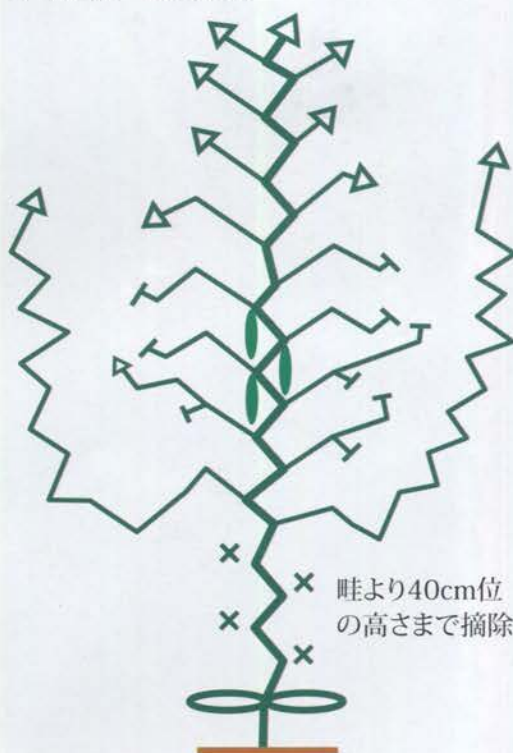
●灌水と排水

定植後の根付き水や薄めの液肥かん水等でしっかりと樹作り。日射量に応じて灌水すると効果が高い。排水対策をしっかりし、酸素供給剤等を施用すると効果高い。

●摘葉及び整枝法

地上40cm以下の脇芽・雌花を早めに摘除する。2~3本仕立ての場合は、孫枝以降の半放任による整枝で末期まで良果が穫れ続ける。遅まき程、収穫が始まったら機械的な摘心はせず、草勢を判断して行う。

本葉20~21枚時



「豊美1号・2号」の最適台木品種

- ブルームレス台木/OS交配 ゆうゆう一輝(黒タイプ)・オールスター一輝・FGY・RK-3
- ブルーム台木/OS交配 ウルトラ南瓜・ウルトラ9B南瓜



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 **埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社 **シード**
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407